

From the Collection of The Museum of Modern Art, Wakayama
MODERN PRINTS



1. アンリ・マティス『JAZZ』より《機(そり)》1947年 ステンシル、紙

モダン・プリンツ

コレクションにみる世界の版画

2022年4月9日(土) - 6月26日(日)

プレス向け解説会のご案内 2022年4月8日(金) 13:30から

プレス関係者を対象に解説会を実施いたします。ぜひ、この機会に取材していただき、「モダン・プリンツ コレクションにみる世界の版画」の魅力を発信していただきますようお願い申し上げます。

企画展「モダン・プリンツ コレクションにみる世界の版画」

2022年4月9日(土)～6月26日(日)

版画は、図や文字などのイメージを複製するための技術を用いた表現です。現在では技術の発達と解釈の多様化により、その表現は広がりを見せています。技術自体の歴史は古く、日本には仏教伝来とともに流入し、西洋でもキリスト教の布教によって広まりました。しかしそれを使った表現が美術のなかに位置づけられるのは、近代以降のことです。つまり本展のタイトル「モダン・プリンツ」とは、近代版画という意味でありながら、美術作品としての版画そのものを指しています。

和歌山県立近代美術館は、版画についての収集や展示、また調査研究に力を入れてきました。それは和歌山が多くの版画家を輩出してきたからでもあります。当館が対象とする近代美術の展開に、版画が大きな役割を果たしていたことも関わっています。表現のなかにオリジナルと複製の問題を内包した版画は、複製技術の発展にも支えられて、既存の美術概念にさまざまな問題を提起し、その拡張に影響を与えてきたからです。近代美術史に名前を残す多くの美術家たちが、版画の制作を試みてきたことが、その証拠とも言えます。

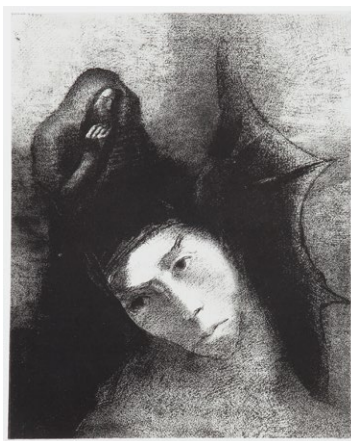
今回の展覧会では、当館の20世紀西洋版画コレクションを中心に、日本の近代版画にも影響を与えたエドヴァルド・ムンク、西洋が日本の版画と出会った時代を代表するエミール・オルリクとその周辺、パブロ・ピカソの代表作や晩年のアンリ・マティスが新たな表現として開拓した切り絵のステンシル作品、そしてアメリカの戦後美術を支えた版画工房と画家の共同作業など、近代版画の多様な側面を紹介し、版画を通じて近代の意味を考えます。

開催概要

主催	和歌山県立近代美術館
会場	和歌山県立近代美術館 2階展示室
会期	2022年4月9日(土)～6月26日(日) *5月23日(月)に一部展示替えを行います
開館時間	9時30分～17時(入場は16時30分まで)
休館日	月曜日
観覧料	一般520(410)円、大学生300(260)円 ()内は20名以上の団体料金 *高校生以下、65歳以上、障害者、県内に在学中の外国人留学生は無料 *4月23日、5月28日、6月25日(毎月第4土曜日)は「紀陽文化財団の日」として大学生無料 *5月1日、6月5日(毎月第1日曜日)は全館無料



2. アンリ・ド・トゥールーズ＝ロートレック
《キャバレーのアリステイド・ブリュアン》
1893年 リトグラフ、紙 個人蔵



3. オディロン・ルドン
『聖アントワーヌの誘惑』第3集より
《アントワーヌ：これらすべての目的は何だろう？
／悪魔：目的などはないのだ！》
1896年 リトグラフ、紙 *後期展示



4. エミール・オルリク
《画家フェルディナンド・ボドラーの肖像》
1904/1905年 木版、紙



5. パウル・クレー 《内なる光の聖女》
1921年 リトグラフ、紙*前期展示



6. ヴァルター・クレム《スケート》1909年
木版、紙



7. ワシリー・カンディンスキー『響き』より《抒情的》1911年
木版、紙 *前期展示



8. ジョルジュ・ルオー『ミセレーレ』より
《わが美の国よ、どこへ行ったのだ?》1927年/1948年刊
銅版、紙 *後期展示

関連事業

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、内容の変更、事業の中止を行う場合があります。
変更があった場合は、美術館のウェブサイトでお知らせします。

▶フロアレクチャー（学芸員による展示解説）

日時：4月30日(土)、5月15日(日)、5月29日(日)
各日14時から1時間程度、展示室にて *要観覧券

▶こども美術館部（小学生対象の作品鑑賞会）

日時：5月14日(土)、15日(日)、11時から1時間程度
*定員6名程度、小学生対象
*当館ウェブサイトより事前に参加申込みが必要
*展示室に同伴される保護者は要観覧券

掲載用画像に
ついては広報担当に
お問合せ下さい。

※所蔵元の表記がないものは
すべて当館蔵です。
※文字のセトリミング等は
ご遠慮ください。



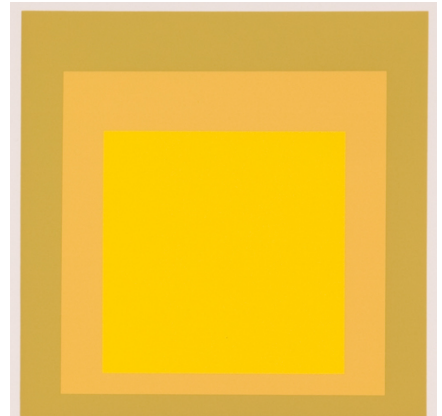
9. エドヴァルド・ムンク《ビルギッテ III》
1930年 木版、紙 個人蔵 *後期展示



10. フィンセント・ファン・ゴッホ《馬鈴薯を食べる人々》
1885年 リトグラフ、紙 個人蔵



11. アンリ・マティス『JAZZ』より《イカルス》
1947年 ステンシル、紙 *前期展示



12. ジョセフ・アルバース『Formulation:Articulation』より
1972年 シルクスクリーン、紙
© 2022 The Josef and Anni Albers
Foundation/Artists Rights Society (ARS),
New York/JASPAR, Tokyo

同時期に開催の展覧会

▶コレクション展 2022 - 冬春

特集「若き日の野長瀬晩花」
会期：2月8日(火)～4月17日(日)

▶コレクション展 2022 - 春夏

特集「生誕130年 田中恭吉」
会期：4月29日(金・祝)～7月3日(日)

▶【県立博物館（と）の展覧会】

企画展「和歌祭と和歌の浦」
会期：3月12日(土)～4月17日(日)
特別展「きのくにの大般若経—わざわいはらう經典—」
会期：4月23日(土)～6月5日(日)
企画展「幕末から明治のきのくにに文人画—偉大なる師、野呂介石を慕いて—」
会期：6月11日(土)～7月10日(日)

和歌山県立近代美術館

学芸担当：青木加苗 広報担当：中川、角

〒640-8137 和歌山県和歌山市吹上1-4-14

T E L : 073-436-8690

F A X : 073-436-1337

E-MAIL : press@momaw.jp

W E B : https://www.momaw.jp